

平成
30年度

白石区ふるさと会／札幌市白石区

PRリーフレット
SAPPORO

白石でっちな奉公 奮闘記



白石でっちな奉公は、小・中学校の児童・生徒が、実際に就労体験をする事業です。

次代の白石を担う子どもたちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような想いから「白石でっちな奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小中学校と協力して実施しています。平成30年度は、9校1,340人の児童・生徒が参加しました。

なお、この取り組みが子どもたちの「キャリア教育」の充実に効果があると認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。

平成30年度白石でっちな奉公 実施概要

◆実施日・参加校

9月19日	北都中学校	201名 (2年生)	11月8日	白石中学校	156名 (2年生)
10月3日	南郷小学校	78名 (5年生)	11月9日	北白石中学校	231名 (2年生)
10月25日	東札幌小学校	71名 (6年生)	11月14日	米里中学校	138名 (2年生)
11月1日	柏丘中学校	183名 (2年生)	11月20日	東白石中学校	155名 (2年生)
			11月28日	幌東中学校	127名 (2年生)

【参加者数】区内小中学生1,340名 【受入先】区内企業、団体、施設等152社